

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年1月29日 事業所名：社会福祉法人 三笠市社会福祉事業団 みかさ子ども発達支援センター かざぐるま
 保護者数 7（児童数 10） 回収数 7 割合 100%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------------------|--|----|---------------|-----|-----------------|--|
| 環境・ 体制 整備 | ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 5 | 2 | 0 | ・少し手狭になったように思う。 | 限られたスペースの中、ロールカーテンの仕切りで個室化を図る等、工夫を図っています。 |
| | ② 職員の配置数や専門性は適切であるか | 7 | 0 | 0 | | 当所利用定員は一日10名までです。常勤管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名、保育士1名の配置で、国の基準を超える配置となっています。（1名は兼務） |
| | ③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 0 | 0 | | トイレなどがフラットで、安全面に配慮しています。 |
| 適切な 支援の 提供 | ④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(注i)が作成されているか | 7 | 0 | 0 | | 保護者の願いやサービス等利用計画をもとに、集団活動で学ぶ人間関係や個別指導で身に付ける技能・能力などを想定した計画を立てています。 |
| | ⑤ 活動プログラム(注ii)が固定化しないよう工夫されているか | 6 | 1 | 0 | | 季節の行事等を随時採り入れると共に、子ども達の「願い」や「やりたいこと」等も取り入れ工夫を図っています。 |
| | ⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 4 | 1 | 2 | | コロナ禍の中、子ども達同士の交流はできませんでしたが、児童館や認定こども園の職員の方々との交流や情報共有を図ってきました。また、市内外の施設への「お出かけ」も、おこなってきました。今後も、必要に応じ交流や活動の機会を設定いたします。 |
| 保護者 への 説明 等 | ⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 6 | 1 | 0 | | 契約時や半年ごとのモニタリングの場合だけでなく、必要に応じて随時進めています。 |
| | ⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 6 | 1 | 0 | | 個別支援計画やモニタリング、連絡ノートや電話・送迎時での直接のお話とあわせ、全体にかかわることは毎月の「つうしん」でお伝えしています。今後は更に、支援内容や成長の状況がよりしっかり伝わるよう工夫を図ります。 |
| | ⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 6 | 1 | 0 | | 定期的な面談の他、個別の相談対応も随時行っています。今後とも、細かなことでも、保護者の皆さんが気軽に相談できる環境づくりに努めます。 |
| | ⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 0 | 3 | | 子どもを含めた保護者職員等の交流会は、本年度はコロナ禍のため実施できませんでした。また、保護者会等の設立は想定していません。もし設置要望等があれば、ご意見をお聞かせください。 |

| | | | | | | | |
|----------|---|--|-----|----|---|-------------------------|--|
| 保護者への説明等 | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 2 | 0 | ・今まで苦情など聞いたことがないです。 | 苦情に限らず、小さなことでも疑問などがありましたら、ぜひお聞かせください。直接当所へ通報・連絡しにくい場合は、契約時の「重要事項説明書」に記載の「苦情受付窓口」等があります。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 6 | 1 | 0 | | 今後とも、お気軽にお話しいただける環境や雰囲気づくりを、より一層大切にいたします。 |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | 1 | 0 | | 毎月の「つうしん」に活動の取り組みや子ども達の努力の様子を載せています。今後わかりやすい発信に努めます。業務等に関する評価は年に一度となっています。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 6 | 1 | 0 | ・少しトラブルがあり、迅速に対応してもらえた。 | 個人情報の取扱いに十分留意いたします。引き続き電子データの持ち出し禁止、個人ごとのファイル保管・管理、「つうしん」掲載の写真等にも配慮いたします。 |
| 非常時の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 4 | 3 | 0 | | 各マニュアルを策定し、これに基づいて日々の対応しています。一方、この件については保護者の皆さんに積極的にはお知らせしてきませんでした。今後はこれまで以上にこの件に関する周知・説明を行います。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 5 | 2 | 0 | ・避難訓練をしたと聞いている。 | 災害時等の避難に対しては、年2回の利用児童を含めた訓練を計画・実施しています。避難訓練では、避難経路、避難方法等を学んでいます。今年度は三笠消防署の協力を得て、避難訓練時に児童による水消火器の実践も行いました。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 7 | 0 | 0 | | 今後も、子どもたちが「明日も行きたい。通いたい。」事業所を目指します。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 6 | 1 | 0 | | 今後も、子どもたちや保護者の皆様の声に耳を傾け、心に寄り添う支援に努めます。 |
| 集計 | | | 103 | 18 | 5 | | 評価の趣旨を職員で十分に把握しますと共に、一層の情報発信に努め、今後の支援・活動に活かしてまいります。また、評価項目にはなく、ご意見等が十分に伝えられないことも考えられます。子ども達や保護者の皆様とのコミュニケーションを更に大切に、学校や関係機関との連携を更に深め、支援方法・活動内容を充実させてまいります。 |

ご協力ありがとうございました。